

特許技術 BRS で
添加物を使わず極板交換もせず電氣的に再生

Q-tecno の鉛蓄電池再生サービス

特許番号
3706376 劣化蓄電池の評価試験装置
3723795 鉛蓄電池の再生処理方法
4673657 劣化蓄電池の評価試験方法
4673658 劣化蓄電池の評価試験装置
4749095 蓄電池の再生処理方法



**産業廃棄物を低減
CO2排出量を削減**



**寿命の1年前倒しで
再生しても
有償保証を付けても
新品買替の約半分**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



資源利用効率の向上と
環境に配慮した技術の導入

再生で廃棄物の発生を大幅に削減し
カーボンニュートラルに貢献

- 再生して使い続けるので産業廃棄物を低減
- 鉛・カドミウムなど重金属含有排水の排出低減
- 鉛蓄電池製造に係る資源消費を低減
- 鉛蓄電池製造に係るCO2排出量を削減

◆鉛蓄電池再生によるCO2排出量の削減効果



※1：蓄電池製造工程でのCO2排出量
※2：材料製造に伴うCO2排出量
※3：電氣的再生処理に伴うCO2排出量
算定根拠：蓄電容量の5%程度の電流を24時間流す。
1000Ah×5%×2V×24h = 2.4kWh
CO2排出原単位421.83g-CO2/kWh(メカ資料より)
2.4kWh×54セル×421.83g-CO2/kWh = 55kg

【試算条件】
1. 対象蓄電池はMSE-1000Ah×54セルとする。
2. 「新品買替」はメカ推奨取替時期に、「再生」は1年前倒しで実施

新品に買替えると・・・ 再生すると・・・



- 【試算条件】
1. 対象蓄電池はMSE-300Ah×54セルとする。
 2. 産業廃棄物処分費用は概算とする。
 3. 再生費用には再生診断料を含む。
 4. 再生費用には3年有償オプション保証料を含む。
 5. 再生費用には1年前倒しで除却する旧蓄電池の残存価値を加味。



**3年の無償保証付き
さらに！
有償オプションで
保証期間を3年延長**

有償保証料：MSE300・54セルで30万円

保証期間中は、再生した鉛蓄電池を年に1回診断し、不具合があった場合は無償で交換します(注)。

MSEタイプ鉛蓄電池のメーカー推奨使用期間は7年3か月なので、寿命1年前の6年目で再々生するとしたら、

**使用期間にわたって機能保証を受けられる
ことになります。**

(注) 高温多湿、直射日光を受ける場所、強い衝撃、有害なガス、粉塵の多い場所、浸水等、通常とは異なる環境下でのご使用による不具合は、保証対象外となります。

再生対象鉛蓄電池

鉛蓄電池は、防災や事業継続上重要な機器の非常用電源に広く使われています

- 非常照明用の電源装置（法定の設置義務・機能保持義務あり）
- 無停電電源装置（UPS）
- 定電圧定周波数装置（CVCF） etc.

制御弁式据置鉛蓄電池

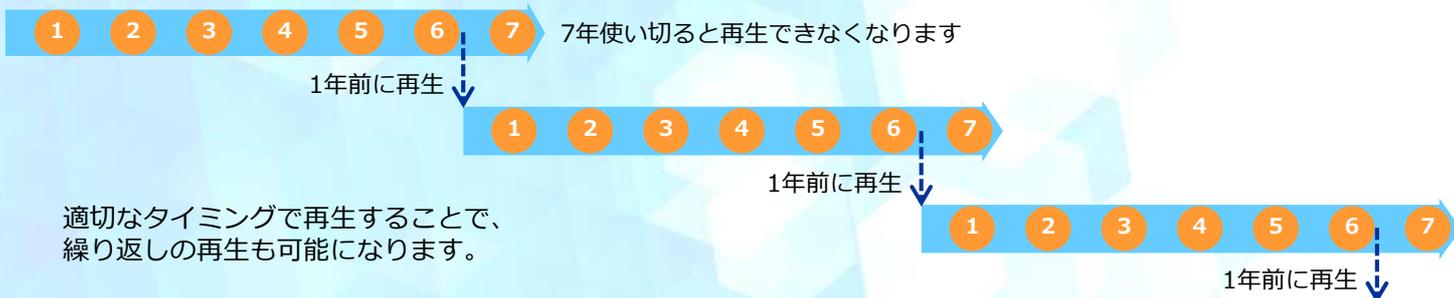


MSE

再生できるのは制御弁式（MSE,FVH）のみです。現在の鉛蓄電池がバント式の場合は、この機会に、制御弁式の再生済在庫品への切替をお勧めします。再生済在庫品については、このページの末尾をご覧ください。

メーカー推奨取替時期の1年前が再生のタイミングです

例えば、メーカー推奨使用期間が7年の鉛蓄電池の場合



まずは早めにQ-tecnoの再生診断を受診ください

再生のタイミングを逃さないために

メーカー推奨取替時期の1年前、あるいはそれ以前であっても既に劣化の兆候が表れている場合は、早めにQ-tecnoの再生診断を受診ください。再生の可否を判定します。診断は半日程度で終了します。



再生診断（バッテリーテスタによる諸データ測定）

診断の結果、再生不可となった場合もご安心ください

次回再生を条件に再生済在庫品(MSE)を販売できます

今回は早めに再生いただける場合は、再生サービスと同じ条件で再生済在庫品を販売することができます。価格は再生サービスの場合よりも若干高くなりますが、旧蓄電池はQ-tecnoが引き取るので、産業廃棄物処分の手続きは不要で、「3年無償保証+3年有償オプション保証」もご利用いただけます。

Q-tecno の鉛蓄電池再生サービスをぜひ継続してご利用ください

 **丸電テクノシステムズ株式会社**
Kyuden Technosystems Corporation